

薩摩の小京都をぶらり

薩摩の小京都として鹿児島を代表する観光地のひとつ「知覧」。麓という江戸時代には武士の居住区だった街並みの保存状態と美しさが最大の魅力ですが、その保存地区以外にも歴史の町・知覧を伝える名跡が点在しています。自分だけの知覧を探しに散策してみましょう。



モデルコース

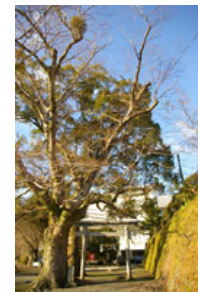
START

- 南九州市役所 150m
- 1 恵比須神社 200m
- 2 大心寺庭園 400m
- 3 佐多島津氏の墓 400m
- 4 富屋旅館 100m
- 5 武家屋敷群 600m
- 6 矢櫃橋 700m
- 南九州市役所

GOAL **約2.6km**

① 恵比須神社

御祭神は大国主命で、もともとは別の場所にありました。商売繁盛の神様として上郡・中郡の人々が篤く崇拝しています。



② 大心寺庭園

もともと寺のあった場所には、知覧領主であった佐多島津氏の別邸があったところにあります。池の位置などバランスがよく、訪れる人々の心を和ませてくれます。ちなみに寺は明治以降に建立されました。



③ 佐多島津氏の墓

かつては知覧の領主であった佐多島津氏の菩提寺である西福寺があった場所です。墓地には文和2(1353)年に知覧を地頭として治めた島津忠光から現在の歴代当主までの墓が並んでいます。佐多島津氏は、忠光から幾度となく領地を代えられています。



⑥ 矢櫃橋(やびつばし)

嘉永5(1852)年に近くに建造された永久橋の残石で造られたといわれています。自然石を巧みに積んだアーチは、美しい姿をたえています。ここは映画「俺は君のためにこそ死にに行く」のロケ地でもあります。

⑤ 武家屋敷群

江戸時代中期に知覧の領主である佐多島津氏によって形づくられたといわれています。中央部には本場場と呼ばれるメインの道があり、その左右に小路が延びています。それらに沿って屋敷または庭園が並び、現在7軒の家の庭園が公開されています。



④ 富屋旅館

太平洋戦争が激化するなかで、飛行学校として建設された知覧飛行場からも特攻機が飛び立つようになりました。その特攻隊員たちが、つかの間のやすらぎのひとつを過ごした軍指定の食堂が富屋旅館でした。現在は復元され資料館にもなっています。

